

## 学校評価アンケート結果について

早春の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

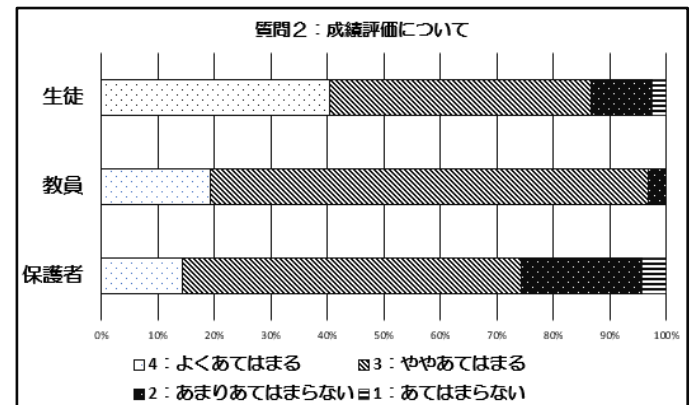
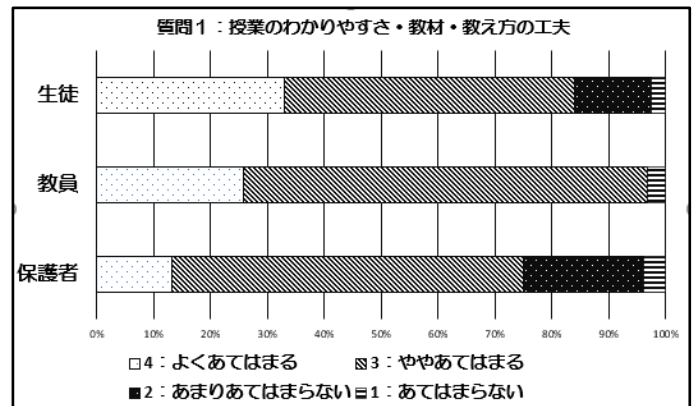
さて、1月に実施しました学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございました。質問項目における生徒、保護者、教員の違いに着目し、成果や課題の把握に努めました。質問文によっては正確に表現するのが難しく、結果に影響していると思われる部分も散見されましたが、いくつかの成果や課題を拾うことができたと考えております。ご報告いたします。

〈アンケート結果と考察（抜粋）〉

### 質問1「授業のわかりやすさ・教材・教え方の工夫」 質問2「成績評価について」

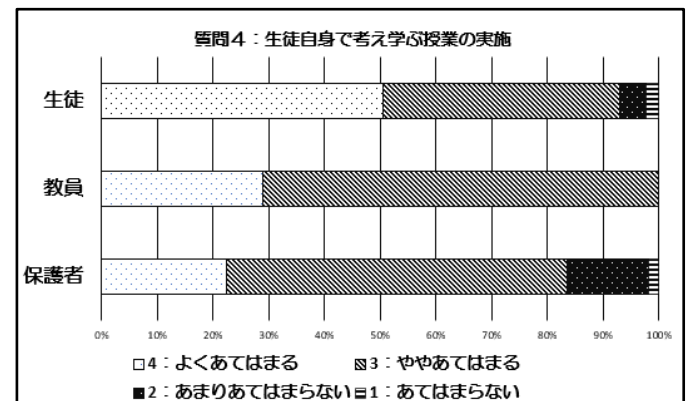
質問1・2は意見の分布が類似していた。教員と比べると、生徒・保護者の肯定的な意見③④が少ない。逆に、やや否定的な意見②の多さが保護者・生徒に目立つ。真摯にうけとめ、生徒たちの授業での反応や理解度に目を向けて取り組んでいきたい。

また、授業や成績評価についてどう行っているかが保護者に伝わらず不安に思う方も多いと思われる。国語・数学・英語などでは週に1回程度TTによる授業を行い、2人の教員できめ細やかな指導を行うようにしている。また、年に数回職員間の授業見学を行い、普段の授業では見落としがちな指導のポイントや生徒理解に努めたりしている。今後も校内外での研修重ね、職員の授業力向上、適切な評価に努めていきたい。普段の授業や教育課程説明会などで、評価の基準や授業での取り組みなど伝えていきたい。



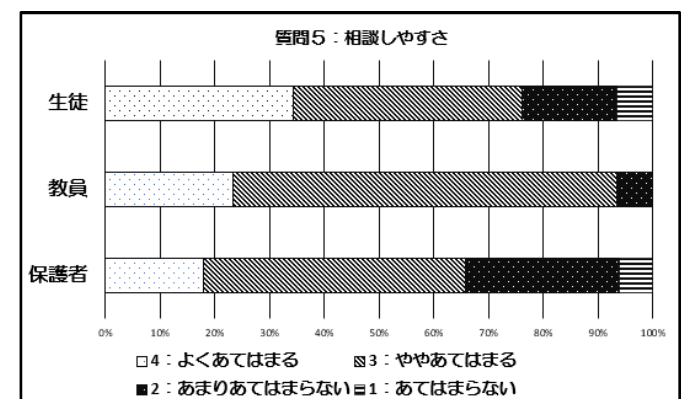
### 質問4「生徒自身で考え学ぶ授業の実施」

生徒の肯定的な意見が9割以上、保護者も8割以上とおおむね良い傾向である。現状に甘んじることなく、学びの成果を実感し、一人ひとりの自己肯定感につながる授業を実施していきたい。



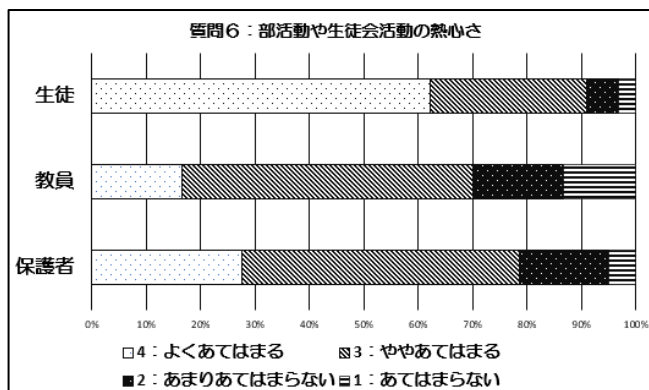
### 質問5「相談しやすさ」

生徒・保護者とも、2～3割程度否定的な意見①②が見られる。生徒、保護者の方が相談できる環境に不安をかんじている状況があると考えられる。今後も教育相談（生徒と担任の二者面談）や三者面談の充実、スクールカウンセラーとの繋がり作りなどを活用して、状況を改善していきたい。



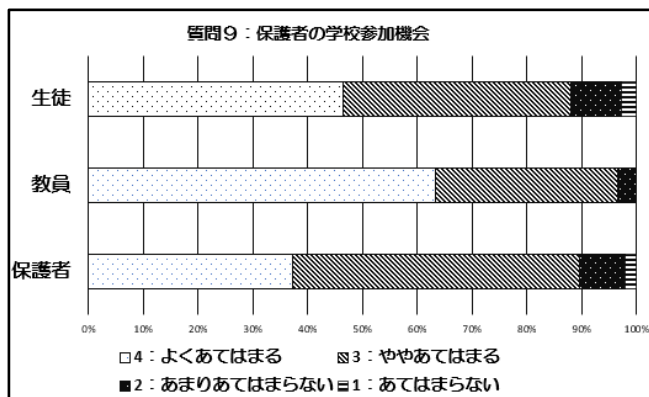
### 質問6「頑張れるもの」

肯定的な意見③④が生徒は9割、保護者は8割とおおむね良い傾向である。現状に甘えることなく、今後も一人ひとりの自己肯定感につながるような指導、活動等に取り組んでいきたい。



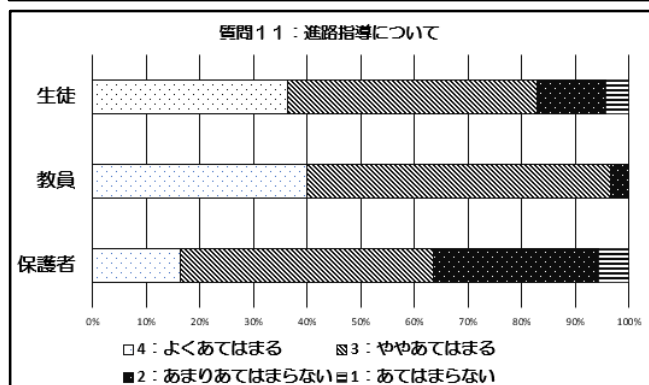
### 質問9「保護者の学校参加の機会について」

生徒、保護者ともに9割近くの肯定的な意見③④が見られる。授業参観やオープンスクール、体育祭、文化発表会など、保護者の方に来校していただく機会を設定することができた。今後も学校の様子、生徒の活動を見ていただく機会を数多く設定していきたい。



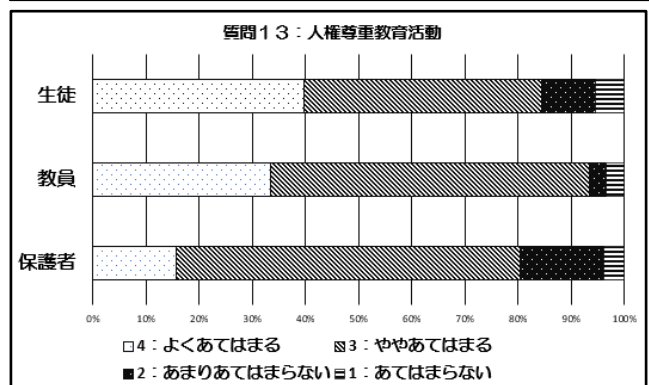
### 質問11「進路指導（職業観の育成）について」

やや保護者の否定的な意見①②が多かった。もっとも肯定的な意見④も、生徒と教員に比べ少ない。本校ではキャリア在り方生き方教育として、全学年で総合的な学習の時間を用いて進路学習などを行っている。中学生の時期に必要な職業観の熟成を目指しながら、受験指導のみでないキャリア教育の浸透を図れるように努めていきたい。今後もお便りや各種の説明会、懇談会等で保護者の方に知ってもらえる機会を設けるようにしていきたい。



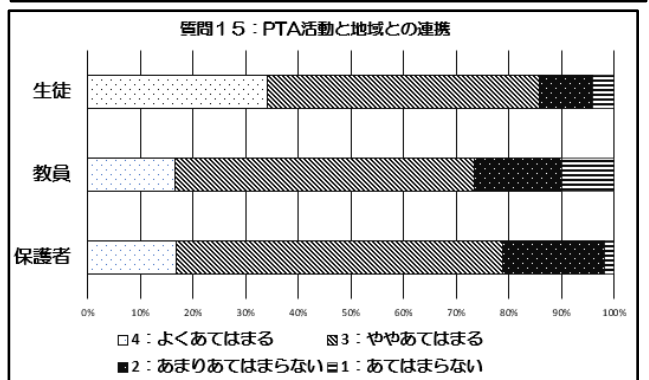
### 質問13「人権尊重教育活動」

生徒、保護者とも8割以上が肯定的な意見で、良い傾向だった。いじめや暴力のない学校作りは生徒の安心安全な学校生活につながる重要なことと考える。今後も継続して多様性を尊重する人権教育を教員が一丸となって、取り組んでいきたい。



### 質問15「PTA活動と地域との連携」

生徒、保護者とも8割以上が肯定的な意見で、良い傾向だった。今後も保護者の方々と共により良い形の活動、連携を考えてきたい。



いろいろなご意見をありがとうございました。来年度の学校運営に生かしていきたいと思っております。なお、学校自己評価については、近日中にホームページにアップいたしますので、あわせてご覧ください。